1冊まるごと マミ&なぎさ大特集!

劇場版

魔法少女まどか★マギカ

LOVE! マミ&なぎさ ver.

e-MOOK
劇場版 魔法少女まどか☆マギカ
LOVE！ マミ＆なぎさ ver.

2014年6月26日発行

共同発行人　関川 誠、熊谷みのり
編集長　太田智之
編集　鈴木香奈子
販売責任者　巣瀬典男
制作責任者　伊藤俊之
発行所　株式会社宝島社
〒102-8388　東京都千代田区一番町25番地
［営業］03-3234-4621
［編集］03-3239-0259（smart編集部）
http://tkj.jp
振替　00170-1-170829　㈱宝島社
印刷・製本　凸版印刷株式会社
©TAKARAJIMASHA 2014
©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Movie Project Rebellion
Printed in Japan

編集協力　清水広美（アニプレックス）、平山公通（アニプレックス）
カバーイラスト　原画：谷口淳一郎　仕上：スタジオエル　フィニッシュ：シャフト
Special Thanks　株式会社アニプレックス、有限会社シャフト
デザイン　CONCENT LAN

※本誌の内容の無断転載・複製を禁じます。※乱丁・落丁本は送料小社負担にてお取り替えします。※本誌掲載の情報は、2014年5月現在の編集部調べによるものです。本誌発売後、商品の仕様や価格などが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。また、品切れ・欠品の際はご容赦ください。掲載商品についての最新情報は、メーカーもしくはショップにお問い合わせください。※本誌掲載商品の価格は、断りのある場合を除き、消費税抜きで表示してあります。ご購入の際は、別途消費税が加算されます。ご注意ください。

CONTENTS

02 STORY OF MAMI AND NAGISA
全会話で振り返る！2人の友情ストーリー

12 キャラクター紹介

14 徹底解剖！お茶大好き！マミのティーパーティー

16 徹底解剖！百江なぎさ生誕秘話に迫る！
［脚本］虚淵 玄インタビュー

18 キャラクター性格診断

22 キャラクター性格診断・総集編

25 CAST INTERVIEW 水橋かおり／阿澄佳奈

31 ［新編］魔女図鑑

33 人気作家が描く「マミ＆なぎさ」
サンカクヘッド／愛☆まどんな

38 ちんかめ Special ver. 巴マミ

42 GOODS NEWS／EVENT REPORT

46 読者プレゼント

47 本誌限定特別付録 詳細は巻末をチェック！

STORY OF MAMI AND NAGISA

劇場版 魔法少女まどか☆マギカ
［新編］叛逆の物語
全会話で振り返る！ 2人の友情ストーリー

『魔法少女まどか☆マギカ』のキャラクター、「巴(ともえ)マミ」と「百江(ももえ)なぎさ」。
みんなの先輩魔法少女「マミ」と、［新編］から登場した「ベベ」は昔からの友達だというが……。
そんな2人の友情ストーリーをプレイバック！　2人が交わした全会話を収録しました。

『ナイテメア オル！　ナイテメア クル！』

自分の部屋の、化粧台に映る湯あがりの「マミ」。洗いたての髪をブラッシングする「マミ」を横目に無邪気にヘアピンをかじっている「ベベ」たったが、「ナイトメア」の気配を感知すると一変、おどおどと騒ぎ始める。仕方なさそうに準備する「マミ」だが、その姿は自信に満ちているようにも見える。今夜も、魔法少女たちの戦いが始まるのだ。

ベベ「チーズ？これチーズ？」
マミ「ベベ、そのヘアピンを頂戴」
ベベ「カタ…フムッ？あウー ナイテメア オル！ナイテメア クル！」
マミ「えっ、またなの…ふぅ…」
ベベ「チーズニナッチャウー チーズニナッチャウ！」
マミ「まったく、もう、夜更かしは美容の天敵なんだけどなぁ」

『さあ！いくわよ、みんな！　ピュエラ・マギ・ホーリー・クインテット！』

出現した「ナイトメア」のもとへ、それぞれに集合する魔法少女たち。息のぴったり合ったコンビネーション技の連続で、今夜も見事に「ナイトメア」を撃退した。戦いの後のティータイムの話で和気あいあいと盛り上がる５人の魔法少女たちだったが、その充実した日々に違和感を覚える者がいた……。

杏子「…なあ、あれって志筑仁美のナイトメアなのか？」
さやか「仁美も大変だよね～。あんな無神経なヤツを彼氏にしたりするからさぁ」
杏子「うわっ、あんたが言うと重みが違うわ」
さやか「えへへ…まぁナニ？人生経験ってやつですかぅ」
マミ「２人とも、ふざけないで真面目にやらないと危ないのよ」
さやか「は～い」
杏子「まどかとほむらは？」
ほむら「遅れてしまってごめんなさい」
さやか「２人ともおそ～い」
まどか「えへへ、ごめんね、さやかちゃん」
キュウべえ「きゅー！」
ベベ「ガウガウ。ミンナ居ル所ニ」
マミ「さあー いくわよ、みんな！」
杏子・さやか・ほむら・まどか・全員「はいっ！」
ほむら「ピュエラ・マギ・ホーリー・クインテット！」
マミ「まどか！巴さん！」
まどか「オッケー！」
さやか「お願い、ほむらちゃん」
ほむら「～～ツー！」
マミ「ティロ・デュエット～～!!」
まどか「リリ～ス～！」
杏子「気持ちは分かるけど、落ち着きなよ、仁美！ゴメイサマよっ、ほっ、リ・リ・ア・ン！」
さやか「アミコミケッカイ!!」
まどか「動きが止まった」
マミ「お見事！さあ、みんな仕上げよ！」
マミ・まどか・ほむら・さやか・杏子「ケーキケーキ、まあるいケーキはだあれ？」
ベベ「ケーキハサヤカ？」
さやか「ちーがーう、私はラズベリィ。丸いケーキは赤い。ケーキは杏子？」
杏子「ちがう。アタシはリンゴ。丸いケーキはベベが好き。ケーキはマミか？」
マミ「ちがう♪私はチーズ。丸いケーキはころーがる。ケーキはほむらか？」
ほむら「ち、ち、ちが…いますー わた…私は…カボチャー ま、丸いケーキは、甘いです。ケーキはまどか？」
まどか「ちがう。私はメロン。メロンが割れたら甘い夢」
マミ・杏子・さやか・まどか・ほむら「お皿の上には猫のゆめ。まるまる太ってめしあがれーーーー！」

べべ「～～～～～～～～～～！」
まどか・ほむら「やったね！」
キュウべえ「きゅ～い～！」
さやか「まー私たちが力を合わせりゃチョロいもんよね」
マミ「こらこら、油断は禁物よ。今日だってちょっとひやっとさせられたわ」
杏子「そういう割に余裕だけどな」
さやか「おいこら杏子！　いいこと言ってんじゃないわよ！」
マミ「ウフフ、仕方ないわね。みんな、うちに寄っていく？」
まどか・さやか・杏子「は～い！」
マミ「わぁ…」
まどか「そうそう、この前のカモミール・ティー、あと二回分ぐらいは残ってるわよ」
マミ「わぁ、あれ、すっごく美味しかったです！」
杏子「あと、新しく封を切ったエキナセアもあるけど…」
さやか「えーっ！　酸っぱいのは嫌だなぁ、あたし」
杏子「ははは、杏子の味覚はおこちゃまだな！」
べべ「なんだとコラ！」
マミ「チーズくくれ！　くれくれチーズ！」
べべ「はいはい、べべにもご褒美がいるものね」
ほむら「マスカルポーネ！　ますかるッポーネッ！」
まどか「……」
ほむら「…ほむらちゃんどうかしたの？」
まどか「え？…ううん、何でもないの。…私たちの戦いって…これで良かったんだっけ？」

『一人ぼっちの私を支えて、励ましてくれたのはべべだけだった。この子がいなかったら、私はとっくにダメになってたと思うわ』

戦いの後、「マミ」の部屋でお茶を飲んでいる「まどか」と「ほむら」。無邪気に振る舞う可愛い「べべ」は「マミ」ともうずいぶん昔から一緒にいて、泣き虫でさみしがりの「マミ」を支えてきたという。その話を聞きながら、一人神妙な顔をしていた「ほむら」は、「マミ」の目を盗んで「べべ」に掴みかかると、そのまま連れ去ってしまう。

ほむら　「魔女…それは絶望をまき散らす災厄の使い。そして絶望に沈んだ魔法少女たちが最後に成り果てる呪われた姿…かつて私は幾度となく同じ時間を繰り返し、その残酷な運命に抗おうと戦った。そして、最後の1人の少女の犠牲によって希望と絶望を巡る残酷な連鎖は断ち切られ世界は新しい理へと導かれた筈……なのに…私たちは忘れ去られていた。誰かが私たちの記憶を欺き陥れようとしている。この偽りの見滝原の街で…」

マミ　「うふふ…もう、べべったら、あんまりお行儀が悪いとチーズになっちゃうわよ」

べべ　「チーズになっちゃう！　チーズになっちゃう！」

まどか　「本当に仲良いですよね、マミさんとべべ。そう言えば、初めてマミさんとあった時もべべと一緒でしたよね」

マミ　「ええ、べべは昔からの友達だもの。出会ったのはもうずいぶん前…鹿目さんや美樹さんよりも付き合いは長いのよ」

ほむら　「…どうしてべべがマミさんのところに来たか覚えてますか？」

べべ　「ホムラナゼキク？」

ほむら　「…ちょっとだけ気になって…」

マミ　「なんだかもう随分昔のことみたいに思えるわ…あの頃はね、この見滝原には私1人しか魔法少女がいなかったの。1人ぼっちの私を支えて、励ましてくれたのはべべだけだった。この子がいなかったら、私はとっくにダメになってたと思うわ」

べべ　「そんな、マミさん…」

まどか　「…巴さんはもっと強くてたくましい人です」

ほむら　「ありがと、確かにそうやって頼りがいのある先輩ぶってた時期もあったわね…でもね、鹿目さんや美樹さんが一人前になって佐倉さんや暁美さんも味方についてくれて…今はこんなに頼れる仲間に囲まれてるんですもの。もう昔みたいに背伸びして頑張る必要もなくなったの」

マミ　「マミ、ホントワナキムシ、マミ、サミシガリ知知ル」

ほむら　「こおら」

マミ　「ナイトメアも強くなってきたけど、そのぶん魔法少女も増えて、何より安心して戦えるようになりましたよね。こういうのなんだかにぎやかで楽しいかも」

まどか　「もう、ナイトメア退治は遊びじゃないのよ、鹿目さん」

マミ　「えへへ…」

まどか　「でも、そうね…今にして思えば、これって昔の私が夢に見ていた毎日なのかもね…魔法少女としての運命を受け入れた生き方が、こんなに幸せで充実したものになるなんてあの頃は思ってもみなかったわ」

ほむら　「マミさん…お茶のおかわりいただけますか？」

マミ　「あら、ちょっと待ってね、今お湯を沸かしてくるから」

まどか　「ほむらちゃん、どうかしたの？」

ほむら　「ごめんなさいまどか。茶番はこのくらいで終わらせましょう」

べべ　「ナンダ？？」

ほむら　「私はあなたの正体を憶えている。思い出したのあなたがかつて何者だったのか」

べべ　「モベーー？」

ほむら　「みんなの記憶を捏造し、偽りの見滝原の結界に閉じ込める…こんな芸当ができるのはべべ、あなたしかいない」

べべ　「…ワカラヌ…」

ほむら　「どういうつもり？こんな風に私たちを弄んでいったい何が楽しいの？」

べべ　「ゲゲッ!?　グ…ウウ…ゲェ～～！」

ほむら　「…記憶って厄介なものね。ひとつ取り戻すと次から次へと余計な思い出がついてくる。ええ、思い出したわ巴マミ。私はあの人が苦手だった。強がってばかりで無理しすぎてそのくせ誰より繊細な心の持ち主であの人の前で異常を装うのはいつだって残酷過ぎて辛かった。忘れたままでいたかったわ、今まで自分がいったいどれだけの人の心を踏みにじってきたかなんて…」

べべ　「白状なさい～こんなに回りくどい手口を使って体何が目的なの？」

ほむら　「ホムラクルシイチーズニナッチャウ」

べべ　「ッ!?」

ほむら　「事情が分かるまで話を聞いていたかったけれど…これ以上べべが虐められるのを黙って見てるわけにもいかないわ」

マミ　「まさか最初から――」

ほむら　「どういうことか説明してくれる？その子が何をしたっていうの？」

マミ　「あなたはべべに騙されている。ここは本当の見滝原じゃないの。みんな偽物の記憶をうえ付けられてるの！」

べべ　「？ちょっと暁美さん、一体どうしちゃったの？」

ほむら　「べべ、逃げて！」

べべ　「ゲゲッ」

ほむら　「どうあってもそいつを守るつもり？」

マミ　「追いかけようなんて思わないで、さもないと私と――戦う羽目になるわよ」

『今まで黙っていてごめんなさい。でも…落ち着いて、話を聞いてほしいのです』

すぐに追ってきた「マミ」と「ほむら」は激しい銃撃戦を繰り広げる。一歩も引かない2人だったが、戦いの中で互いの記憶に相違があることに気づいてしまう。「自分たちが戦っている「ナイトメア」っていったい…？」。そんなとき、目の前に一人の幼い少女が現れる。それは、「マミ」が長い間連れ添った「ベベ」が人のかたちとなった「なぎさ」の姿だった。

マミ「！お互いの動きの読み合いね。でも同じ条件で私に勝てる？」
ほむら「根くらべなら負けないわ」

マミ「ほら、狩りがあかないわよー」
ほむら「ー」
マミ「ーーだめよー」
ほむら「ー」
マミ「暁美さんっー」
ほむら「!?　なっー？」
マミ「あなたの魔法は確かにすごいけど、いつだって相手より優位な立場にいると思い込むのは禁物よ」
ほむら「…巴さん、あなたは何も気づかないの？今の自分に何の違和感も感じないの？」
マミ「急所を撃とうとしなかったあたり、まだ私の身を案じてくれるだけの気持ちはあるようね。でもどうしてベベを騙ったりしたの？」
ほむら「あいつは魔女よー私たち魔法少女の敵なのよー思い出してー」
マミ「魔女なんて知らないわ。私たちの敵は魔獣でしょ」
ほむら「…ー」
マミ「…そう、私はずっと魔獣たちと戦ってきた…じゃあナイトメアって、いったい…？」
ほむら「？！くっ…ーどういうこと？いったい…」
ベベ（なぎさ）「それは私の口から説明するのです」
マミ「えっ？あなたは…ベベ？」
なぎさ「今まで黙っていてごめんなさい。でも…落ち着いて、話を聞いてほしいのです」

『ティロ・フィナーレ！』

記憶の食い違いの根源を突き止めようともがく「ほむら」は、自分がいつの間にか「魔女」となり、「偽りの見滝原市」を作っていたという事実に気づいてしまう。だがそれらはすべて、「まどか」の秘密を探るための「インキュベーター」による大掛かりな罠だった。激怒した「ほむら」は自ら呪いを募らせ、永遠に円環の理に救済されることなく破滅する道を選ぶ。「マミ」をはじめとする魔法少女たちは、そんな「ほむら」を助けるために戦い始める。

マミ「あれが…魔女？」
さやか「悔がらないでやって。ああ見えて、一番辛いのはあいつ自身なんだ」
杏子「…笑えねぇな」
キュウべえ「待ってくれー。あれは暁美ほむらなんだ。君たちは仲間と戦う気かい？」
まどか「キュウべえ…」
杏子「へえ、あんた普通に騙れたんだ」
マミ「残念だわキュウべえ。これでもう、べべの話を信じるしかないみたいね」
キュウべえ「まどかー君ならほむらを救えるはずだ。君が持っている本当の力に気付きさえすれば！」
さやか「そいつは放っときな、まどか。大丈夫、さっきあたしが教えた通りにやればいい」
まどか「う、うん」
べべ「パ…パパパパパルミジャーノレッジャーノ」
さやか「慌てなさんな。あんたを外に出そうてわけじゃーない」
キュウべえ「き、君たちは、一体！」
なぎさ「私たちは、かつて希望を運び、いつか呪いを振りまいた者たち。そうすればあんたの目を盗んで立ち回れると思ったのさ。インキュベーター！まどかだけに狙いを絞って、まんまとひっかかってくれたわね」
キュウべえ「そんな…じゃあ君たちもまた、円環の理…」
さやか「まぁ要するに粗持ちみたいなモンですわ。まどかが置いていった記憶と力を、誰かが運んであげなきゃならなかったらねー」
なぎさ「いざとなったら、私かさやかかどっちか無事な方が預かった本当の記憶をまどかに返す予定だったのです」
さやか「ぼむら1人を迎えにいくのに3人がかりなんてね。随分と手間かけさせてくれたもんだけど、まぁあいつのためなら仕方ないか。ここまで頑張ってきた奴には、それなりのご褒美があってもいいもんね」
マミ「さやかちゃん…」
まどか「鹿目さん、私たちもいくわよ！」
魔女ほむら「は、はい！」
さやか「やめて！もうやめて！私はこの世界で死なきゃならないの！」
杏子「だーかーらっ、1人で背負い込もうとするなって！」
さやか「っち。わけわかんねーことに巻き込みやがって！」
杏子「おっと、サンキュ！」
さやか「…胸糞悪くなる夢を見たんだ。あんたが死んじまう夢を。でも本当はそっちが現実で、今こうして二人で戦ってるのが夢だって…そういうことなのか？さやか」
杏子「夢っていうほど哀しいものじゃないよ、これ。なんの未練もないつもりでいたけれど、それでも結局、こんな役目を引き受けて戻ってきちゃったなんて…やっぱりあたし、心残りだったんだろうね。あんたを置き去りにしちゃったことが」
さやか「なぎさはもう二度チーズが食べたかったのです」
なぎさ「おいこら！空気読めっての！」
杏子「馬ッ鹿野郎！」
マミ「ティロ・フィナーレ！」

『いつか私たちを導く、円環の理…』

激しい戦いは終わった。空が夜明けのように明るくなると、記憶を取り戻し、円環の理となった「まどか」が、「ほむら」を迎えにやってきた。「まどか」のそばには、カボチャの馬車に乗った「さやか」と「なぎさ」の姿があった。3人はようやく、今日まで戦い続けた「ほむら」の魂を絶望から救うことができる…はずだった……。

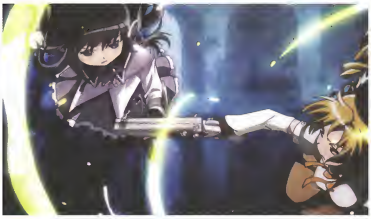
杏子「…行っちまったのか？さやかも、あんたのべべも…」
マミ「…いいえ」
杏子「？」
マミ「今ようやく、彼女を連れて行くところよ」
杏子「…あれが、鹿目まどか？」
マミ「ええ。いつか私たちを導く、円環の理よ」
まどか「そうだった。私はほむらちゃんのために…こんな大事なこと忘れてたなんて…」
さやか「まあ、余計な邪魔が入ったからね。ちょっとした回り道になっちゃったかな」
なぎさ「やれやれなのです」
まどか「待たせちゃって、ごめんね。今日までずっと頑張ってきたんだよね」
ほむら「まどか…」
まどか「さあ、行こう。これからはずっと一緒だよ」
ほむら「…ええ、そうね。このときを、待ってた…」
まどか「ッ！ほむらちゃん？」
ほむら「やっ…と、掴まえた」
杏子「お、おい…？」
マミ「な、何よこれ…暁美さん!?」
なぎさ「ソウルジェムが…呪いよりもおぞましい色に!?」
さやか「何なのあれ？欲望？執念？いや違う？暁美ほむら、あんた一体!?」
まどか「理解できないのも当然よ。ええ、誰にも解るはずもない。この想いは私だけのもの。まどかのためだけのもの…」
ほむら「ほむらちゃん…。だめ！私が裂けちゃう！」
まどか「言ったはずよ。まどか。……もう二度と、あなたを離さない」

（※本企画の会話は、劇場版の台本・本編の内容をもとに再現しています）

マミの活躍をプレイバック!

マミの変身シーンはエレガントな「お花」モチーフ!

フィギュアスケートのような、しなやかで美しい動きで変身するマミ。
髪留めと同じ「お花」のモチーフがあちこちにちりばめられていて、とてもキュート!



目が離せない！ 緊迫感が漂う、「ほむら」との近接銃撃戦！

［新編］でのマミの見せ場のひとつといえば、やはり「ほむら」との銃撃戦！
スピード感、スケール、演出効果も抜群で、スリリングかつエキサイティング。無敵のマミ、健在です。

CTERS

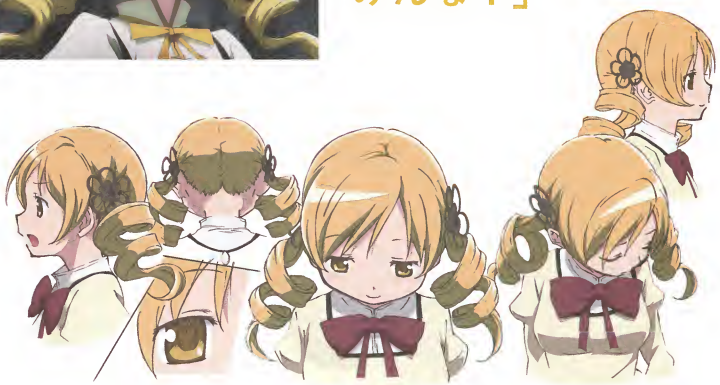
巴マミ MAMI TOMOE

声：水橋かおり

まどか達の通う見滝原中学校の3年生。幼い頃にキュゥべえと契約し、まどか達と出会うまで魔法少女として活動してきたベテラン魔法少女。面倒見がよく、みんなの頼れるお姉さん的存在だが、ちょっぴり強がりで思い込みが激しい一面も。「新編」では、昔からの長い付き合いという「べべ」と一緒に生活をしている。

「夜更かしは美容の天敵なんだけどなあ」

「さあ！ いくわよ、みんな！」



「ティロ・フィナーレ！」

「これって昔の私が夢に見ていた毎日なのかもね…」

鹿目まどか MADOKA KANAME

声：悠木 碧

どこにでもいる平凡な中学2年生の女の子。家族や友達思いの心優しい性格の持ち主。すべての魔法少女を救うことを願いとして魔法少女となり、新たな世界の概念となってしまった。

暁美ほむら HOMURA AKEMI

声：斎藤千和

過去にまどかと交わした約束を果たすために「時間干渉」を操って戦い続け、今の世界を手に入れた記憶を持つ魔法少女。まどかが理（ことわり）を変えた世界で、戦い続けている。

百江なぎさ NAGISA MOMOE

声：阿澄佳奈

［新編］で初めて登場する魔法少女。まどかたちと比べると年齢的にもだいぶ若く、幼い言動が特徴的。実はその正体は、マミが昔からずっと行動を共にしている「ベベ」。チーズが大好きで、とある事情があってマミたちのもとにやってきた……。

「チーズニ
ナッチャウ！」

「モベ～？」

「今まで
黙っていて
ごめんなさい」

「なぎさはもう１度チーズが食べたかっただけなのです」

佐倉杏子 KYOKO SAKURA

声：野中 藍

隣町の風見野からやってきた魔法少女。勝ち気な性格で、食欲旺盛な女の子。呪いを溜め込み魔女化してしまったさやかを救うために戦った。［新編］ではさやかの家に居候している。

美樹さやか SAYAKA MIKI

声：喜多村英梨

正義感が強く、いつも元気で活発な女の子。幼なじみである恭介の怪我を治すために、魔法少女になった。祈りが呪いを生む魔法少女の運命に絶望し、魔女となってしまったが…。

解剖！

お茶大好き！
マミのティーパーティー

［新編］でマミたちが飲んでいたあのお茶ってどんな味……？
マミが大好きなお茶について、少しだけお勉強しましょう！

『この前のカモミール・ティー、あと一回分ぐらいは残ってるわよ』

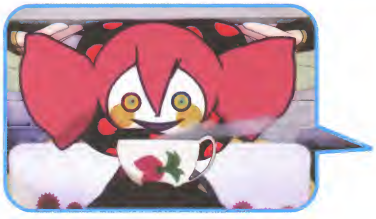
カモミール・ティーとは…？

カモミールはカミツレとも呼ばれるキク科の植物で、マーガレットのような白い花を咲かせる。ヨーロッパ各地では古くから親しまれており、「ピーターラビット」のお話の中にも登場。欧米では体が温まるハーブとして愛用されてきた。甘いりんごのような香りが特徴的。

こんなときに飲みたい

体を温め気分を落ち着かせてくれるので、お休み前のリラックスタイムにおススメ！

『新しく封を切ったエキナセアもあるけど…』



エキナセアとは…？

ピンクの花を咲かせるキク科のエキナセアは、アメリカ大陸の先住民（インディオ）が最も大切にしたハーブといわれている。干し草のようなほのかな香りがして、味はあまりクセがない。

こんなときに飲みたい

冬～春先など、季節の変わり目に特におススメ！

お茶について教えてくれたのは…

LUPICIA 広報部

LUPICIA（ルピシア）。旬の紅茶、日本茶、烏龍茶はもちろん、オリジナルのブレンドティー、フレーバードティーなどが揃う、世界のお茶専門店。日本全国の百貨店やショッピングモールなどに店舗展開をするほか、レストランやサロン、ティースクールなども運営する、お茶に関するプロフェッショナル。

http://www.lupicia.com

徹底

シチュエーション別 おススメのお茶！

体を温めたいとき

生姜を紅茶にブレンドした「ジンジャーティー」がおススメ。生姜にも紅茶にも、体を温める力があるので、飲むとぽかぽかしてくる。「エルダーフラワー」というハーブティーにも同様の効果が。

飲みすぎたとき

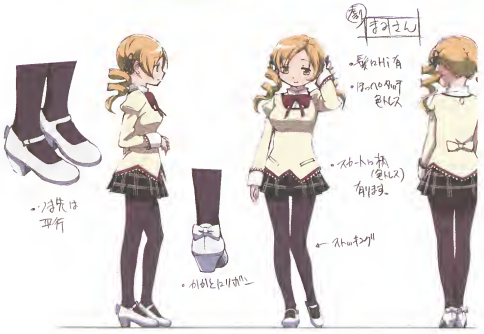
飲みすぎてしまったときは、実はとても身近なお茶、熱い「日本茶」がおススメ。カフェインが酔いを覚ましてくれます。

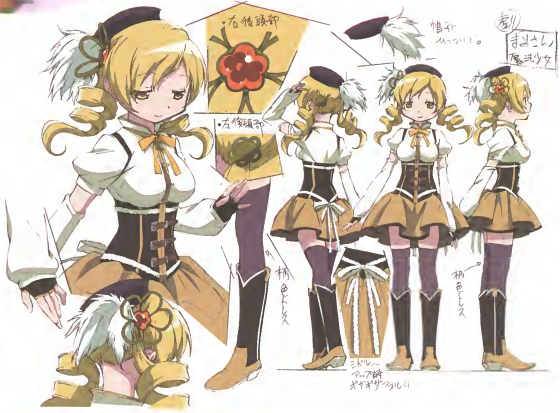
リラックスしたいとき

バラを紅茶にブレンドした「ローズティー」などがおススメ。ローズの香りがリラックス効果抜群で、花びらが目にも美しい紅茶です。ジャスミンで香りづけした「ジャスミンティー」も、その甘く官能的な香りが心を穏やかにさせてくれる。

気分をリフレッシュしたいとき

ベルガモットという柑橘の香りがさわやかな紅茶「アールグレイ」などがおススメ。柑橘系の香りのお茶は、さっぱりとした香りが気分転換にもってこい！





解部

百江なぎさ生誕秘話に迫る！ [脚本]虚淵 玄インタビュー

[新編]に登場した幼い魔法少女、百江なぎさ。なぎさに関してもっと知りたい！ ということで、脚本の虚淵玄氏を直撃！ 生誕秘話に迫りました。

“百江なぎさはコミカルだし、おもしろいキャラクター”

――「なぎさ×マミ」でムックをつくらせていただきました！ こういう企画に虚淵さんはどんな感想をお持ちですか？

「いやー、感無量ですね。そもそも巴マミはＴＶシリーズのときには序盤で退場してしまうキャラクターでしたし。百江なぎさは『劇場版 魔法少女まどか☆マギカ[新編]叛逆の物語』で初登場したばかりですし。出番の少ない者同士でムックが出るのは驚きですよね」

――劇場版[新編]で“百江なぎさ”が生まれたきっかけをお聞かせください。

「[新編]の脚本を書くとき、(ＴＶシリーズで魔女になった)美樹さやかを再登場させたいという話があったんです。そこで『一度魔女になってしまったけれど、人(魔法少女)のかたちで出てくるキャラクター』を、さやか以外にもう一人つくろうと思いました。そこでＴＶシリーズのときに一番キャラが立っていた魔女を出そうと。それが第3話に登場した“お菓子の魔女”だったんです。当時、『まどか☆マギカ』の異空間設計を担当していた劇団イヌカレーさんが『魔女化する前のキャラクターのイメージ』をテキストで用意してくださっていたんですね。“お菓子の魔女”にも、魔女化する前のキャラクターが用意されていて、かなり明解にキャラクター性があったので、せっかくならこれを使わせていただこうと。それで“なぎさ”ができました」

――“なぎさ”の原点には、劇団イヌカレーさんのアイデアが入っているんですね。

「そうですね。“なぎさ”のもうひとつの姿が“べべ”という名前に決まったのも、“べべ”のセリフがきちんとした日本語じゃなくなったのも、劇団イヌカレーさんによるものです。魔女に関係するキャラクターは、劇団イヌカレーさんがコンセプトや監修を手掛けてくださいました」

――“べべ”と“なぎさ”のルーツである、“お菓子の魔女”はどのようにできあがったのでしょうか。

「そもそも“お菓子の魔女”はマミの魔法が効かない魔女ということで考えたんです。マミはリボンで縛ってトドメをさすという魔法の戦闘スタイルを持っていて、“お菓子の魔女”はその魔法を無効化するように身体の一部が伸びて攻撃してくる。そのコンセプトでキャラクターデザインをお願いしていました。当初は劇団イヌカレーさんがデザインを担当するとは決まっていなかったので、魔女はおぞましいモンスターのつもりで脚本を書いていて。たとえばト書き(脚本の説明文)に「触手を伸ばす」とか書いていたんですよね。でも、劇団イヌカレーさんがデザインすることになって、魔女にある種の可愛らしさが加えられて。おもちゃっぽかったり、ファンシーな方向性であったり、そういう方向性に舵を切ったデザインが決まっていきました。中でも“お菓子の魔女”は自分がイメージしていたものとは一番違うデザインがあがってきたんです。一番残酷なことをしでかすがゆえに一番可愛らしい。一番怖くないデザインでありながら、一番怖い。意外性のあるデザインで、見た目と行動に一番大きなギャップがある魔女になりました」

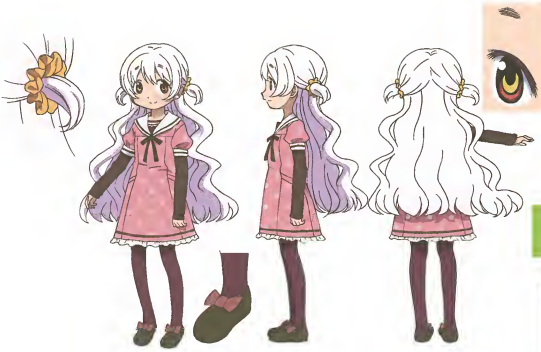
――“なぎさ”を今回キャラクター原案の蒼樹うめさんが新しく起こされましたね。

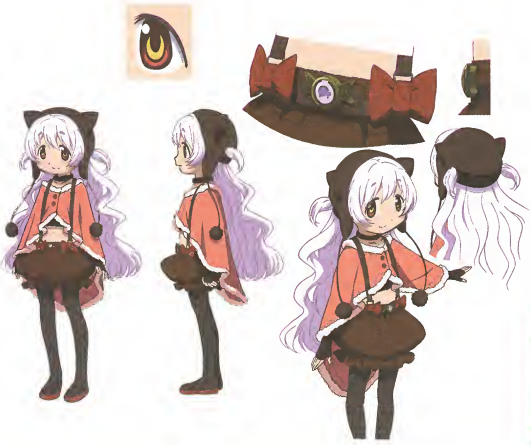
「はい。魔女を擬人化してくださいました。“お菓子の魔女”というキャラクターがすでに完成していましたし、擬人化しやすい魔女だったのでは？ と思います。“お菓子の魔女”の可愛らしいデザインをベースに、百江なぎさを描いてくださいました」

――“なぎさ”のもうひとつの姿“べべ”をどのように描こうとお考えでしたか？

「なるべくマスコットキャラっぽく、人間っぽいしゃべりかたはさせないようにしようという考え方はありましたね。チーズのセリフは自分が書きました。マスコットキャラですし、食べ物についてしゃべったほうが、ケモノっぽくていいかなと」

徹底





――[新編]の“なぎさ”の活躍をご覧になった感想をお聞かせください。

「『まどか☆マギカ』のアクションシーンは、アニメーションを制作しているシャフトさんが絵コンテをつくるうえでふくらませてくださった部分です。“なぎさ”の武器は、脚本の段階では決まっていませんでした。おそらく飛び道具なんじゃないかと考えていたんです。物語上、結界を攻撃しなくてはいけないキャラクターなので、近接武器ではダメだろうなと。脚本上の指定としてはそれくらいのものだったんです。ラッパというのはなかなか良いアイデアだなと思いました」

――虚淵さんの脚本をもとに、シャフトさんが映像面でアイデアをふくらませていく。そういう共同作業が行われているんですね。

「TVシリーズの『まどか☆マギカ』をつくっているころから、そういうやり方だったんです。キャラクターの描写や映像のアイデアについては、シャフトさんに万全の信頼を寄せていますので。そちらは完全にお任せしています」

――実際にご覧になって、“なぎさ”にはどんな魅力をお感じになられましたか？

「“なぎさ”はコミカルだし、おもしろいキャラクターになりましたね。変身シーンもおもしろかったです。単純に楽しませていただきました」

――[新編]のエピローグで、“なぎさ”は元気に走り回っていました。虚淵さんとしては“なぎさ”はどんな状態で結末を迎えたと考えていらっしゃいますか？

「記憶がきれいにすっ飛んでしまって、普通の女の子に戻っているという位置づけです。おそらく魔女や魔法少女ということも関係なくなっているんじゃないかと」

PROFILE

虚淵 玄（うろぶち げん）
ニトロプラス所属の脚本家
（魔法少女まどか☆マギカシリーズでは、Magia Baiser（マギア・バイザー）名義）。ライトノベル作家から転向し、TVシリーズでは全話の脚本を担当。（PSVita用ソフト『魔法少女まどか☆マギカ 叛逆の物語』も手がける）

あなたのマミ度をCHECK！

面倒見のいい頼れるお姉さん。気が強いけど、独りぼっちはちょっぴり寂しい。
あなたの中に潜む巴マミを20の質問で診断。
当てはまるものにチェックを入れて、マミ度を調べてみましょう！

取材・文：武藤祐季(Anet studio)

- ☐ グループを仕切ったり まとめるのが好き
- ☐ 後輩ができると嬉しくて、 いろいろ教えてあげたい
- ☐ 正義感は人一倍強い
- ☐ 長男(長女)だ
- ☐ 部屋はいつでも きっちり整頓されている
- ☐ 面倒くさがりなほうではない
- ☐ 一人でもいいけど、 仲間がいると強くなれる
- ☐ 人よりも詳しい趣味がある
- ☐ 髪型など、外見にこだわりがある
- ☐ 家事が得意
- ☐ 料理やお菓子づくりが趣味
- ☐ 適当な人とはあまり合わないと思う
- ☐ 生真面目な性格だといわれる
- ☐ 甘えられるとつい優しくしてしまう
- ☐ 何事もきちんと考えて選択をしたい
- ☐ 本気を出すと心底強い
- ☐ こうでいなくては、 と理想の自分像がある
- ☐ もっと自由奔放に生きられたら 楽だろうなと思う
- ☐ 本当は誰よりも繊細だ
- ☐ 本当は泣き虫だ

3コ以下

マミ度 ☆☆☆☆☆

0%

甘え上手で和みキャラ、マミではなくなぎさタイプ!!

誰かに甘えてわがままだって通したいあなたは、その場にいるだけで雰囲気を和らげられるため、友達の間ではマスコット的存在です。ハートが強く、一人で生きていける強さも持ちますが、若干空気が読めないところも？

4～8コ

マミ度 ★★☆☆☆

30%

肩の力を抜いて自由に振けるフレキシブルマミ!

やや性格的に適当な部分はあるものの、物事をフレキシブルに考えることができるタイプ。組織においても自由に動けるポジションで存分に力を発揮します。しかし、責任ある立場になると突如萎縮してしまう傾向あり!

9～13コ

マミ度 ★★★☆☆

50%

常に笑顔で誰からも愛されるオールマイティマミ!

仕事、友人関係での対応は硬軟を使いわけ、誰にでも慕われるオールマイティさが光ります。性格に裏表がないのもあなたのいいところ。あとは何かこだわりを持ちたいと思える分野を探せば、人としての深みも増すはず!

14～18コ

マミ度 ★★★★☆

80%

理想が高くて人をまとめるのが上手なコマンダーマミ!

マジメで正義感と責任感が強く、人の上に立つことに向いているあなた。その繊細な心もあなたの人としての魅力を増幅させています。理想が高くこだわりが強いため、たまに偏屈だと思われてしまうところだけ注意して!

19コ以上

マミ度 ★★★★★

100%

指導者向きでオンレセンス抜群、みんなのマミ姉貴!

部下や後輩から頼られる姉御、兄貴的キャラクターで、物事を指導することにも長けているあなたは上司にしたい人物No.1! オシャレ心も持っているため、ストレスさえため込まなければ最高の人生を送れるでしょう!

心理学者・富田 隆先生がアドバイス！

マミ的人間の生きるヒント

頼れるみんなのお姉さんで、その場をまとめるリーダー的存在。
強い自分を演じようと気丈に振る舞うけれど、本当は泣き虫で寂しがりや……。
そんなマミの行動パターンから、マミタイプの人が楽しく生きていくためのヒントを教えてもらいました。

強そうに見えて実は繊細。ストレスはうまく発散しよう

―― マミ的人間の特徴を教えてください。

「自分の理想の人格を演じなくてはいけないと思うところが強く、精神医学者のエルンスト・クレッチマーが提起した性格体質三類系のエビ気質に当たります。大人びていて周囲から頼りにされるリーダー的資質がありますが、本人がいっていた通り、無理して『背伸び』をして生きているようです。いくら意識的に大人ぶっても、無意識領域には『甘えたい』『わがままをいいたい』という欲求を誰でも隠し持っていますので、マミのようにそれを抑えつけてしまうと、その衝動は大人になってもしつこく残ってしまうのです」

―― そこで登場したのがべべ？

「そうですね。べべは舌足らずで欲しいものばかりを求めている、まるで赤ん坊のような存在。このキャラは彼女の幼児性の代弁者ともいえるかもしれません。いい人間関係のひとつに、デコボココンビなどお互いにないものをそれぞれ持ち合わせる相補性というものがあります。この図式はマミとなぎさにも当てはまっています」

―― 頼りになる先輩の存在ですが、ほむらは「誰よりも繊細」という言葉で彼女を評していました。

「外側に強い鎧をまとっている人ほど内面は意外ともろい。彼女はペルソナ（社会的仮面）として大人びたキャラを演じている側面もあるため、泣いていたことをべべに指摘されたように、人の目の届かないところで弱さを見せることがあります。そのような繊細な人はストレスが蓄積されると突如キレてしまう瞬間が訪れる。それがTV版で描写された仲間殺しという行動にもつながるわけです。たまには休めばいいのに、その暇があるなら頑張ってしまうのがマジメなエビ的人格の特徴なんですよ」

―― ストレスを爆発させないために何か対処法はありますか？

「ひとつはストレスを上手に小出しにしてため込まないこと。嫌なことがあったら弱音を吐ける、愚痴をこぼせる友達がいるといいですね。そしてその相手はなぎさのように自分とは真逆の性格の存在がいいと思いますよ。それとこういうタイプの人がよりよく人生を歩むためには、オシャレに生きるのも大事。オシャレは人にゆとりをもたらせてくれます。女性だったら服にこだわってみたり、休日に気の利いたカフェに行ってみたりと生活全体を充実させるんです。その点では、マミもお肌を気にしていたりお茶やお菓子にも詳しかったりと、上手くストレスのはけ口を見つけていますね」

―― マミタイプは仕事面でもその頼りがいを発揮しそうに思えます。

「理想を追い求めるタイプなので、すぐに責任のある仕事を任されるでしょう。ただそれゆえに不真面目な人を許容できない非寛容さを持つきらいもありますね。映画でも杏子を諭すシーンがありましたが、それがベテランになるに従い頑固さにつながります。全員が自分と同じ意識で仕事をしているわけではないですし、そういう人も戦力としては必要な場合が多いので、そのことに気づくべきでしょうね」

―― 恋愛においても理想像を追いがちなんですか？

「確かに時代ごとにあるマチスモ（男らしさ）には弱い傾向があります。しかし、恋愛に関しては理想の男性を追い求めるのは若い頃までですでしょう。最初から100点満点の男性を求めるべきではない、恋愛は相手と一緒に成長していくべき、ということも年齢を重ねるごとに理解しようとするマジメさを持っています。ですから10代の恋愛観を30代までこじらせることもないはず。自分の年齢や境遇に沿って恋愛、結婚観を持てる良識があるので失敗も少ない。そのかわりに、おもしろみのある恋愛も少ないかもしれませんけれど、それもマジメさを表してますね」

富田 隆（とみた たかし）

心理学者。駒沢女子大学人文学部教授。専門は「認知心理学」。その領域だけに留まらず、社会問題や芸術など多方面にわたって才能を発揮。若者の心をつかみ、鋭くかつわかりやすい心理分析には定評があり、テレビ・ラジオをはじめ、講演・執筆など、各マスコミで活躍。
【http://www.asaikikaku.co.jp/profile/tomita/】

あなたのなぎさ度をCHECK！

自由奔放な末っ子気質。別に空気は読まなくてもいいよね……？
あなたの中に潜む百江なぎさを20の質問で診断。
当てはまるものにチェックを入れて、なぎさ度を調べてみましょう！

取材・文：松佑佳（A4studio）

- ☐ お菓子やチーズが大好き！
- ☐ 欲望に忠実だと思う
- ☐ 頼れる人には甘えたい
- ☐ 何でもソツなくこなせる器用なタイプだ
- ☐ 年下より年上と一緒にいることのほうが多い
- ☐ 周りの「空気を読む」ことは別にしない
- ☐ 人に自分のことを必要以上に話したくない
- ☐ 仲間はいるけど極端に群れないほうだ
- ☐ マイペースだねといわれる
- ☐ 意外としっかり者だと思う
- ☐ 重要な役割を任されることが多い
- ☐ 人によく指摘される口癖がある
- ☐ 可愛いイタズラなどで人を笑わせるのが好き
- ☐ 困ったときに助けてくれる味方は多いと思う
- ☐ あまり多くを語らないことで誤解されることがよくある
- ☐ ずっと昔からの付き合いの大親友がいる
- ☐ 友達を独りぼっちにさせたくない
- ☐ 直感が働くほうだ
- ☐ シリアスな場面は苦手。和気あいあいとしているほうが好き
- ☐ 独特の空気感を持っているねと人からいわれたことがある

3コ以下

なぎさ度 ★☆☆☆☆

0%

カチッとしていて堅実。ビジネスパーソンなぎさ!?

4〜8コ

なぎさ度 ★★☆☆☆

30%

マイペース&自己犠牲精神を持つアダルトなぎさ!

9〜13コ

なぎさ度 ★★★☆☆

50%

自由ながらも社交性も併せ持つ文化人なぎさ!

14〜18コ

なぎさ度 ★★★★☆

80%

不思議ちゃんで場をかき回すフリーダムなぎさ!

19コ以上

なぎさ度 ★★★★★

100%

キレモノで変革を起こす人物トリックスターなぎさ!

心理学者・富田 隆先生がアドバイス！

なぎさ的人間の生きるヒント

マイペースで自由奔放に振る舞う、幼い魔法少女なぎさ。
登場シーンは決して多くないものの、物語のキーを握るキャラクターとなった。
［新編］で見られたなぎさの行動パターンから、なぎさタイプの人が楽しく生きていくためのヒントを教えてもらいました。

道化を演じるトリックスター。パートナーに頼って才能を発揮

―― 登場シーンは多くはありませんでしたが、物語のキーパーソンのひとり、まどかをサポートする役割ですよね？

「そのような重大な役を担うには基本的には老かいなキャラがふさわしいのですが、なぎさは幼児性丸出しで老かいさとは真逆ですよね。このことを人格として考えた場合、能力や経験は十分にあるにもかかわらず表面的には子どもっぽい言動をして、周囲にはあえて道化を演じているため、『トリックスター』的性質を持っているといえます。飄々（ひょうひょう）として勝手気ままに騒いでいるように見えながら、実は思慮深い、なんて人はみなさんの身近にもいるかと思います」

―― そのような人格と考えると、確かに身近にもいそうですね。ことあるごとに、というと変わり者という印象です

「だからこそ他の人が思いつかないことを考えられる。心理学ではスキゾタイプという分裂気質に分類されます。なかなか本音を明らかにしない、歴史上の人物でいうと織田信長。信長が戦国時代の風雲児と呼ばれたように、なぎさも物語のかき混ぜ役として登場していますしね。変革をもたらすタイプといえるでしょう」

―― そんなタイプの性質を持つ人間ってどう思いますか？

「人の気持ちがわからないことがひとつ。他人の喜怒哀楽を感じる力を共感性といいますが、この手の人はそれがあまり高くない。ある種の冷たさを持っていて、逆に周囲からは『あの人は何を考えているかわからない』と思われがち。だから信長も本能寺の変で命を落としました。人間の感情の向きというのは理不尽で非合理です。このタイプの人はそれを汲み取ることが不得意ですが、物事を客観的に分析、研究することは好きです。だったらその不可解な人間の感情を徹底的に理論的に分析して、頭で理解する。そうすることで他人に対しても適応的になれますね」

―― 愛情はあるけど理解できない、というタイプは悩ましい存在ですよね

「このタイプは自分が無関心な相手には冷淡ですが、惚れるとものすごく情熱的。しかし尽くしもしますが、相手が喜んでいるのを見て嬉しくなるのではなく、ただ自分がしたいからしている、というひとりよがりな面も。そのため、無関心になるのが早いだけでなく、一度見切った相手でも思い直すところがあればすぐに戻ってきて、異性を翻弄したりもします」

―― 自分本位の恋愛ですからしょうがないですね

「そうでしょうね。うまくいかなくても他にたくさん異性はいる、と考える性格なので。ただ、このタイプの人は、自分はものの本質をわかっていると自信を持っていて、具体的なテクニックをバカにしがち。よりよい恋をするために恋愛上手な人のやり方を参考にしてみるなどの努力は必要でしょう」

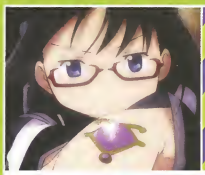
―― 飄々として一般社会に適応できるとは限りません。仕事面では心配しないでしょうか？

「そんなことはありませんよ。特に企画の分野で才能を発揮します。機転も利くので、社会的に成功するタイプですね。ただ気ままに行動するがゆえに人間関係でトラブルを起こしやすい。なぎさタイプは頭がキレますが、『智に働けば角が立つ』という言葉の通り、それだけで人生を乗り切ろうとしないこと。なぎさ自身が映画の中でもそうだったように、コミュニティではゲスト的存在になりやすいので、身近に自分の才能を把握していて、かつ組織の中で人徳があり、人を生かす能力のある仲間を持つといいでしょう。その人物のスタッフ（参謀）となることで、組織内で敵をつくらず力を発揮できますよ。ちょうどなぎさにとってのマミのような存在ですね」

富田 隆（とみた たかし）

心理学者。駒沢女子大学人文学部教授。専門は「認知心理学」。その領域だけに留まらず、社会問題や芸術など多方面にわたって才能を発揮。若者の心をつかみ、説くかつわかりやすい心理分析には定評があり、テレビ・ラジオをはじめ、講演・執筆など、各マスコミで活躍。
【http://www.asaikikaku.co.jp/profile/tomita/】

あなたは誰タイプ？
キャラクター別総合診断！



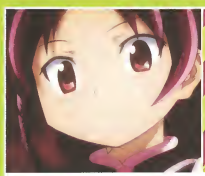
あなたのほむら度をCHECK！

- [ ] 目標達成のためなら、どんな苦労もいとわない
- [ ] 本当の気持ちなんて、伝えられるわけがない
- [ ] どちらかというと、好きな人には尽くしてしまうほうだ
- [ ] ほとんどのことは一人で十分できると思う
- [ ] ちょっと強がってしまうことが多い
- [ ] 同性で憧れる人がいる
- [ ] 大勢の人とのコミュニケーションは苦手
- [ ] 正義感が強いほうだと思う
- [ ] 友達が多いほうではない
- [ ] 義務感に追われ、目が覚めてしまう朝がある
- [ ] 緊張するとうまく話せない
- [ ] 陰でコツコツ努力するのが好き
- [ ] 思い込みが激しいタイプだ
- [ ] 出会えてよかったと思える親友がいる
- [ ] 人から“冷たい”といわれたことがある
- [ ] 何度失敗してもあきらめない
- [ ] 悩みや不安は誰かに相談するより自分で抱え込んでしまう
- [ ] 生真面目で、曲がったことが嫌いだ
- [ ] 可愛らしいものよりは、無機質でシンプルなものが好き
- [ ] 冷静な人が好きで、無駄なことで争っているバカは敵だと思う

あなたのまどか度をCHECK！

- [ ] 家族と仲がよい
- [ ] ぬいぐるみやリボンなど、可愛いものが好き
- [ ] のんびりマイペース型だと思う
- [ ] 自分にあまり自信がない
- [ ] 褒められながら成長していくタイプだと思う
- [ ] “優しすぎる”といわれたことがある
- [ ] 想像力が豊かなほうだ
- [ ] どうしても叶えたい願いごとがある
- [ ] どちらかというと、慎重に行動するタイプ
- [ ] どうしようもないことでも、つい自分を責めてしまう
- [ ] おかしいと思ったら、どんな相手でもはっきりといえる
- [ ] 困ったときに助けてくれた人のことは忘れない
- [ ] なぜだろう、どうしてだろう、と物事の理由を考えてしまう
- [ ] 困っている人、悲しんでいる人のことをほっとけない
- [ ] どんなことでも、わりと器用にこなせるほうだ
- [ ] グループを仕切るリーダーよりは、後ろからついていくタイプ
- [ ] あまり即決することはなく、決断は遅いほうだ
- [ ] 一度決めたら迷わずに使命をまっとうできる
- [ ] 相手が嘘をついていると、なんとなくわかってしまう
- [ ] 誰かの役に立ちたいと強く思う

P18、P20でマミ度・なぎさ度を診断したところで、本誌シリーズのほかの魔法少女たちの
キャラクター性格診断をプレイバック！ 6人の魔法少女たちの中で、あなたが一番近いのは……！？



あなたの杏子度をCHECK！

- [ ] お菓子など間食が好きだ
- [ ] 学校帰りの寄り道は、ファストフードやラーメンが定番
- [ ] 食べ物を粗末にする人とは仲よくなれない
- [ ] フットワークが軽いタイプだ
- [ ] ツンデレだといわれたことがある
- [ ] ついついテレビを見てしまい、期限までに仕事や宿題が終わっていないことがよくある
- [ ] どうしても守りたいモノがある
- [ ] ノリがいい性格だと思う
- [ ] 家族や好きな人のためなら、どんな苦労もいとわない
- [ ] 後悔しない人生を生きたい
- [ ] 自分の生き方（スタイル）に自信がある
- [ ] どんなタイプの人とも、わりとすぐに打ち解けられる
- [ ] 本当は誰よりも友達思いだと思う
- [ ] たとえ勝算がなくても、諦めは悪いほうだ
- [ ] 最後に愛と勇気が勝つストーリーに憧れる
- [ ] 可愛らしい子より、ボーイッシュな子が好きだ
- [ ] 友達を独りぼっちにさせたくない
- [ ] 自由奔放が好きだが、深い友情や愛情には憧れがある
- [ ] できるだけ、自分のために生きたい
- [ ] どうしても忘れられない人がいる

あなたのさやか度をCHECK！

- [ ] 「ヒーロー」という存在に憧れがある
- [ ] 取り立てて、人より優れた才能はないかもしれない
- [ ] どちらかというと体育会系だ
- [ ] 人懐っこい性格だと思う
- [ ] 場の空気を読みすぎてしまうことがある
- [ ] 正義感が強いほうだ
- [ ] 仕事や宿題は、早めに終わらせるタイプ
- [ ] 好きな人のためにあれこれ世話を焼くのが好き
- [ ] 後で間違いに気づいて後悔することがよくある
- [ ] むしゃくしゃして、わざと人を傷つけるようなことをいってしまう
- [ ] 同性の友達は多いほうだ
- [ ] 恋愛が絡むと、冷静さを失うことがある
- [ ] 目標に向かって努力している異性に惹かれる
- [ ] 決断力がない人を見るとイライラしてしまう
- [ ] 頼るより、頼られたい
- [ ] 奇跡も、魔法も、あると思う
- [ ] 自分の考えはどこか甘いかもしれない
- [ ] 後悔だけはしたくない
- [ ] 基本的にはポジティブ・シンキングだ
- [ ] 友達と好きな人がかぶったら、自分の気持ちをいえなくなってしまう

※この診断は「魔法少女まどか☆マギカ LOVE！まどか&ほむ☆ver.」（2011年8月発売／小社刊）「劇場版 魔法少女まどか☆マギカ LOVE！さやか&杏子ver.」（2013年12月発売／小社刊）の内容を再掲載しています

診断結果

「まどか度」のチェックが…

3コ以下
まとか度 ☆☆☆☆☆
0%
エネルギッシュなあなたは
まとかではなく杏子タイプ！
[illegible]

4～8コ
まとか度 ★★☆☆☆
30%
とんなときも落ち着いている
姉御肌まとか！
[illegible]

9～13コ
まとか度 ★★★☆☆
50%
サバサバした面も持つ
ホーイッシュまとか
[illegible]

14～18コ
まとか度 ★★★★☆
80%
他人を第一に考えられる
友情主義まとか！
[illegible]

19コ以上
まとか度 ★★★★★
100%
キュゥへえもほっとけない
アルティメットまとか！
[illegible]

「ほむら度」のチェックが…

3コ以下
ほむら度 ☆☆☆☆☆
0%
孤立するのは大嫌い
友達大好きさやかタイプ！
ほむらとは違い、自信にあふれ リーダーシップを発揮できるさやかタイプ。しかし反面、孤立すると心のもろさが出てしまうことも。一人でも正しい選択ができる力はあるので、孤独を恐れすぎないのも大事です。

4～8コ
ほむら度 ★★☆☆☆
30%
対人関係も得意な
ハートフルほむら！
人との対話が上手で、どのコミュニティでもそつなくこなせるのがハートフルほむら。その一方でどの関係も浅くなりがち。人間関係を実利のための手段と考えないようにし、人間自体の魅力に目を向けてみては？

9～13コ
ほむら度 ★★★☆☆
50%
ときには女の子らしさも発揮。
ツンデレほむら！
素っ気ない態度を基本としつつも、心を許した相手には甘える要素もあるツンデレほむらです。異性の心を掴みやすいのが特徴。仕事などではもう少しツンの割合を抑えめにすると、より充実した生活が送れそう。

14～18コ
ほむら度 ★★★★☆
80%
気持ちはクールで頭もキレる
自己解決型ほむら
物事を俯瞰で見られるため、判断ミスが少ないタイプ。しかし、人に頼ることを知らないあなたは、何でも自分で解決できると思いがち。人に意見を求めることで常に新しい発見があることを念頭に置くべしです！

19コ以上
ほむら度 ★★★★★
100%
エントロピーも凌駕!?
時代を拓くカリスマほむら
目的のためなら手段を選ばないあなたはほむらそのもの。失敗に挫けず挑戦し続けるので新しい道を切り開くカリスマ性を持っていますが、向こう見なところも。知らない間に他人の心を踏みにじらないよう要注意！

「さやか度」のチェックが…

3コ以下
さやか度 ☆☆☆☆☆
0%
内気だけど友達思い
どちらかというとまどか!?
[illegible]

4～8コ
さやか度 ★★☆☆☆
30%
乙女チックなことも大好き
メルヘンさやか！
基本的にはおっとりした性格ですが、実はかなり頑固なところがあります。頑固な一面は人を傷つけてしまうことを絶対に避ける平和主義者ゆえの優柔不断になってしまうことも。時には自信を持って決断する勇気も必要です

9～13コ
さやか度 ★★★☆☆
50%
男子からも女子からも人気。
ユニセックスさやか！
あなたはサバサバしたところと、面倒見のよさなどの可愛らしい面を持った、男女両方から愛される存在。しかし、精神的にもろいところがあるので、人を深く信頼する仲間に遠慮なく打ち明けるのも大事。

14～18コ
さやか度 ★★★★☆
80%
思索と行動力を併せ持つ
ユーティリティさやか！
[illegible]

19コ以上
さやか度 ★★★★★
100%
ボーイッシュでアクティブ
ムードメーカーさやか！
[illegible]

「杏子度」のチェックが…

3コ以下
杏子度 ☆☆☆☆☆
0%
人の情には流されない
冷徹なほむらタイプ!?
感情移入が苦手で杏子とは真逆。失敗も少なく大きな後悔とは無縁といえます。システムを考えることが得意で、変革をもたらす才覚がある可能性が。しかし、あまりにも無機質な性格なため、敵を作りすぎないよう要注意。

4～8コ
杏子度 ★★☆☆☆
30%
物事の分析が得意。
結果を求める現実主義杏子！
取捨選択に躊躇のないあなたはとってもリアリスト。しかし、人が嫌いなわけではないので、その気持ちをもっと素直に表してみるのもいいかも。実利以上に人のつながりが大事なことをあなたは薄々気づいているのでは？

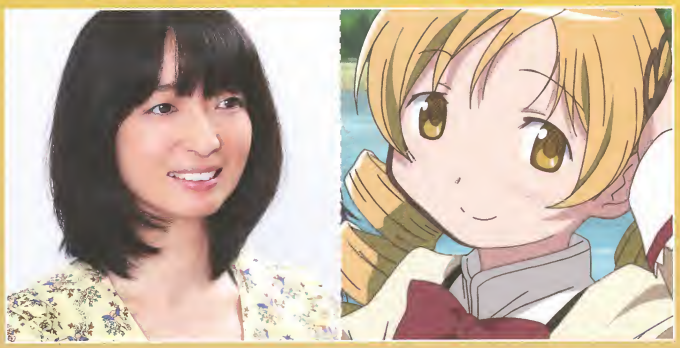
9～13コ
杏子度 ★★★☆☆
50%
どんな人や場面にも適応
人好きのする社交派杏子！
社会性が高く、子どもっぽい面も持つあなたは敵を見つけるのが難しいほど周囲に愛されています。とてもエネルギーにも溢れますが、まれにプツリと糸が切れてしまうことも。そのときは無理をせず自然回復を待ちましょう。

14～18コ
杏子度 ★★★★☆
80%
積極的かつ冷静に判断
成功者に多いブレーン杏子！
アクティブに動けるフットワークの軽さと、行動する前にクールになれるタイプで、ミスを最小限に抑えて大きな仕事を成功に導けます。ただ人に流されやすいので、あまり他人に影響されすぎないように注意してください。

19コ以上
杏子度 ★★★★★
100%
実はとても友情に厚い
頼りになる姉御肌杏子！
一匹狼的な振る舞いをするあなたですが、本当は人が大好き。一度仲よくなった友達のことは決して放っておけません。直感で行動するタイプなので後悔することも多いですが、それが必ずしもマイナスではないことをお忘れなく。

文：武松佑季(A4studio)

KAORI MIZUHASHI <<<



CAST INTERVIEW

キャストインタビュー　水橋かおり／阿澄佳奈

「巴マミ」を演じる水橋かおりと、「百江なぎさ」を演じる阿澄佳奈が登場。
2人が感じるキャラクターの魅力や、「マミ」と「なぎさ」の友情ストーリーに迫ります。

>>> KANA ASUMI

巴マミ役

水橋かおり

"マミさんは死んだからこそ
生きたキャラクター。
アニメならではの魅力がそこにあるんです"

みたいで、ちゃんとお姉さんに見えるようにするのが難しかったです。かといって、やりすぎるとおばちゃんになっちゃうし。でも、この作品は役者に恵まれていて、みんながしっかりとキャラクターをつくってきてくれるので安心して演じることができました。マミさんのおかげで、今じゃすっかりお姉さん役をする人という印象になりました。やっぱりイメージチェンジって難しいので、ありがたかったです。私はできるんだと声を大きくいっても、役者は役柄で見せないとわかってもらえませんから」

――「新編」のマミさんについて。初めて台本を読んだときの感想は？

「「新編」のマミさんは精神的な動揺はそんなになくなっていて、むしろアノプレているような感じがあって、彼女にとっては理想の世界だったかなと。途中までは、ですけど。だから最初は、逆に心配でしたね。いつ落ちていくんだろうと。マミさんは落ち始めるとどこまでも落ちる人なので（笑）。また、一度死んでいるので、巴マミは二度死ぬ……ということはないだろうなと思ってました。最後まで観ると、落ちているヒマもないくらいの話でしたね」

――マミさんの好きなところは？

「「新編」でほむらちゃんとハリウッド映画みたいな銃撃戦をしたのはよかったですね。一度あおいうシーンをやってみたかったんです。しかも、女の子対女の子というのはなかなか表現として難しいですよね。歩調違うとただのケンカになっちゃう。私、戦いたかったんだなあ。斎藤千和ちゃん（暁美ほむら役）と打ち合わせをしたわけではないんですが、あえて息を入れないでセリフを入れたり、つくり込む楽しさを味わいました」

――マミさんはどうしたら幸せになると思いますか？

「マミさんって『紅茶で身を立てて喫茶店のオーナーになってやろう』とか（笑）、具体的な夢がまったくないタイプだと思うんです。なのに、余計なことを考えてしまって、どんどん自分を追い込んでしまうタイプ。そういうマミさんには『魔女と戦って忙しそうにしている今こそが幸せなんだ』と気づいてほしいです。あとは、マミさんが家に帰ったときにいてくれるパートナーがいればいいんじゃないかな、ただこの魔法少女の中で一番、結婚できなさそうですが（笑）」

――マミさんとべべ（なぎさ）の友情を感じるのはどんなところ？

「私たちは新キャラクターが発表される前から、『お菓子の魔女』が登場すると聞いていたんです。だから友情というより『マミさんはこの人に喰われたんだよね』と思っていたんですけど（笑）、「新編」ではその関係がどう描かれるんだろうと気にしていますしね。『また、喰われるの？』みたいな（笑）。劇中のマミさんたちは楽しそうにしているんだけど、見ている人はサスペンスを感じるという、その見え方の違いも含めておもしろかったですね」

――なぎさの好きなところは？

「なぎさちゃんはデザインが完全に新規。魔法少女たち5人のデザインがすでにあるので、どのラインでくるんだろうと思ったら、私の好きなラインで。さすが蒼樹うめ先生だなと。私は特に目が好きです。目に「魔女の頃の」面影があるんですよね……。まどか☆マギカ」には、魔法少女が魔女になるという設定があるので、きっとファンの方々は魔女がそれぞれどんな魔法少女だったのかを予想していたと思うんです。だから余計に、デザインするのは大変だったろうなと」

――マミさんとべべ（なぎさ）以外に気になる関係性のキャラクターは？

「えっと……「まどか☆マギカ」のカップリング論争に一石を投じると（笑）!?　どの関係もおもしろいので興味があります。その中でもやはり、ほむらとまどかの関係が気になっていて。ほむらからの感情を、みんなどれくらい切実に考えているんだろうなと気になりますね。リアルだとほむらの感情って相手から嫌われちゃうと思うんですよ。相手のことを思うばかりに、踏み込んでしまう。その一方的にまどかを思うほむらちゃんの気持ちは、私には痛いほどわかるんですけど、それって普通は相手から距離をとられる。まどかが優しい子だったのでよかったですけど……」

――テレビシリーズから最近までで、ご自身で変わったと感じることはありますか？

「自信がついたかなあ。現代は一生懸命大人が考えて作品をつくっても、なかなか数字につながらず、評価につながらないものもあるんです。『まどか☆マギカ』はやりたいと思っていることをたくさん持ち寄った作品で、考えて考えて考えきったあげくに、いい意味でそういう真っ向勝負のやり方しかできないアニメ好きの人たちが集まった現場だったと思うんです。それを視聴者のみなさんがきちんと評価して、数字で返してくださったことは本当によかったと思うし、ありがたかったし、今まで自分がやろうとしていたことは間違いじゃなかったと実感しました」

――最後に読者へのメッセージをお願いします！

「『まどか☆マギカ』の一番の楽しみ方は考えることだと私は思っているんです。私も『まどか☆マギカ』のいちファンで、いろいろ好き勝手いっているんですけど、私がいっていることが真実というわけじゃない。せっかくここまで大きなムーブメントになったんだから、みんないろいろなことを考えて、「あれはどう思う？」とみんなで語り合ってほしい。特にマミさんとなぎさの2人はいろいろ考えるのがおもしろいコンビだと思うんです。マミさんは妹みたいな感覚でなぎさのことを可愛がっているんですよね。でも、自分たちがやってきたことを全部思い出したらどうなるんだろう……とか、いろいろ考えてほしいです」

（取材・文／志田英邦）

PROFILE

木村かおり（きむらかおり）
8月28日生まれ。北海道出身。O型。
2001年『カスミン』で初の主役を務める。主な出演作品に『ひだまりスケッチ』宮子役、魔法少女まどか☆マギカ』の巴マミ役など。

Photo : SATOSHI ONMURA

百江なぎさ役

阿澄佳奈

**“マミさんにとってべべは
ずっと求めてきたパートナーだけど、
真相を知ったらどうなるか……”**

――『まどか☆マギカ』という作品の魅力は？

「テレビシリーズの頃、私は外側から観ているような、傍観者の立場だったので、すごく大きなムーブメントが起きているなという印象を持っていたんです。ひとつの作品がこれだけ多くの人の心を動かすということは、きっと大きな何かがあるんだろうなって漠然と感じていました。[新編]で参加することになって、初めてちゃんと作品に向き合ってみたら、これは私自身も巻き込まれていくような、落ちていくような力がある作品だなと。あらためて、ものすごい作品だなと思いました」

――べべとなぎさはどんなキャラクターですか？

「[べべはマミさんと]一緒に暮らしているキャラクターです。[もともとテレビシリーズでは、べべとマミさんは敵同士というか、べべはマミさんの仇というか[笑]、マミさんを食べちゃった相手なんですよね。なのに[新編]では、マミさんはべべに対して、とても親しげで。テレビシリーズを観てくださった方がビックリするような、おもしろい関係性だなと思いました。なぎさはべべの魔法少女のときの姿です。べべは、“お菓子の魔女”としてはテレビシリーズで登場していましたが、べべとなぎさは今回初登場の新キャラということだったので、もうすでに完成した世界観の中にいる『まどか☆マギカ』のメインキャラクターたちとどういう関係になっていくのか、ワクワクしていました」

――[新編]の台本を読んだときの感想を教えてください。

「[新編]の台本を読んだときは、完成図がおよそ見えないといいますか（笑）。私の想像力では全然かたちにできませんでした。ここはどうなるんだろうと、台本だけではなかなか察しきれない部分が多かったですね。アフレコ中は必要なところをおのおの確認しながら収録していったんです」

――べべとなぎさを演じるうえで考えていたことはなんですか？

「べべとなぎさに関しては、幼さや純粋な子どもらしさを出していけたらいいのかなと思いました。それはアフレコのときに指示していただいたことでもありますね。べべのときに、なぎさの精神がどれくらい存在しているのかはよくわからなかったんですが、それを決めないまま、べべはべべとして楽しく生活しているように収録しています」

――べべとなぎさの好きなシーンは？

「べべはマミさんに抱きかかえられていたり、マミさんに“ぬ”をポンとたたかれたり、ちょいちょいマミさんがべべを触るシーンがあるんですよ。そういうところにマミさんからの信頼や愛情を感じていました。なぎさに関しては、最初に魔法少女として登場したときのモジモジしている感じがすごく印象的でした。『今まで黙っていてごめんなさい』でも、落ち着いて話を聞いてほしいのです』というセリフとともになぎさがようやく人の姿をして登場したことで、彼女なりの緊張感がとても可愛らしく描かれていたと思います。そのあと、ほむらと戦っているときに、さやかと杏子のもとへ……というシーンがあって、イイ感じに

なっているときに、なぎさが「なぎさはもう一度テーストが食べたかっただけなのです」っていうところもおもしろかったです。ああいう子どもらしく空気を読まずに、マイペースなセリフをいうあたりが、なぎさらしさなのかなと思いましたね」

――完成した『新編』の映像をご覧になった感想は？

「完成した映像を観て、こういうことになるのかと驚きました。最初はどうなるかわからなかったんですが、べべとなぎさは一筋縄ではいかないと思っていたんですが、べべとなぎさは一筋縄ではいかないという不思議な感覚を味わいましたし、いろいろな発見がある作品だったと思います」

――べべとなぎさはまだ謎の多いキャラクターですが、阿澄さんはどう考えていますか？

「うーん……また私の中ではべべとなぎさの演技を困めているわけではないんです。もっともっとべべとなぎさのことを知りたいなと思っています。でも、マミさんがすべての真相を知ったら……ときどき怖いですよね（笑）。『新編』のマミさんにとって、べべはずっと求めていたパートナーなんでしょうよね。だから、あんなに親しそうにしていたけれど、自分を食べちゃった相手でもありますからね。そこからどうなるのかわかりません」

――そんなマミさんのどこが好きですか？

「『新編』のマミさんはすごくカッコいいんですよね。対ほむらの銃撃戦が特に。しかも、ただカッコいいだけじゃなくて、ほむらがいうように『強がって無理しすぎてそのくせ誰より繊細な心の持ち主で』という一面もあって。そのふたつがマミさんの魅力だと思います。今回の『新編』はほむら視点で描かれるからかもしれませんが、よりいっそうマミさんのもどかしさが伝わってくるような印象がありました」

――マミとべべ、なぎさ以外にも、気になる関係性のキャラクターは？

「『新編』では、ほむらとそれぞれの魔法少女の関係が全員分描かれていたと思うんです。今まで描かれていなかった部分であったり、より関係性が深く描かれている部分もあって、どの関係もおもしろく観ることができました。それらの中でも、やっぱり気になるのは、ほむらとまどかの関係性でしたね。2人とも相手のことが大好きですし、傷つけたくないと思っているんです。でも、その想いの表出の仕方というか、表現方法がほむらとまどかは違っていて。ほむらに関していえば、すさまじい執念のような愛情になっている、まどかのためなら何でもしてしまうと私は思っていて。ほむらの場合はそこまでの感情をこじらせてしまったのかなと。最初は友達のために動いていたのに、いつの間にかその目的を通り越して、我に返れなくなっているというか……そういうところまで到達している関係性なんだろうなと思いました」

――そういう気持ちは阿澄さんも理解できますか？

「私も理解できるような気がします。自分のためでなく、誰かのためだからこそ、どこまでもやれる。どこまでもやってしまう。たぶん、自分のためだったら、ほむらはあそこまでならなかったと思うんですよね。そういう思いが共感できるからこそ、ほむらを見ているといたたまれない気持ちが出てくるんでしょうね」

――『新編』公開後のまわりの反応は？

「なぎさ役が発表になったとき、『まどか☆マギカ』に出るんだねって、いろいろな方から声をかけていただきました。公開後の反響はべべに対する感想を多くいただいたような気がしますし、やっぱりべべはインパクトのあるキャラクターでしたし、映像的にもほかのキャラクターと違う描かれ方をしていたので、みなさんの目を引いたんでしょうね。線のタッチも違ったし、セリフの表現も変わっていたので、みなさんの中で強く印象に残ったんだと思います」

――まどか☆マギカ』に参加してから、ご自身で変わったと感じることはありますか？

「参加する前は『まどか☆マギカ』はすごい作品なんだな、と客観的に作品を見ていたんです。でも『新編』でキャストの一員になることができて、グッズだったり、お店のキャンペーンなどいたるところで『まどか☆マギカ』という文字を見ましたし、よりいっそうタイトルを意識するようになりましたし、『新編』が劇場公開してからは毎回の反応が生まれます。大きくなっていることは、ファンレターなどに『まどか☆マギカ』について書いてくださる方が増えました。あと、今回のように私もたくさん取材を受けさせていただいて（笑）、新キャラではあるんですが、たくさんお話をさせていただく機会がありました。これが注目を集めている作品なんだなと、あらためて取材のたびに思います」

――最後に、ムック本読者へメッセージをお願いします！

「この作品は、観てくださったみなさんそれぞれが自分なりの解釈の世界をつくることができる作品だと思います。観た方それぞれがべべとなぎさの新しいキャラクター性を受け取ってくださったのなら、よりいっそう新しい世界観を楽しめるんじゃないかなと。この作品は『こう解釈するのがいい』という正解があるわけではないですし、ゴールというものもいまだにまったく見えていない（笑）。もしかしたら、とんでもないトンデン返しがどこかで起きるかもしれない作品だと思っています。また今後どうなるのがはわかりませんが、私自身もべべとなぎさというキャラクターがよりいっそう深く描かれる機会があったらうれしいなと期待しています。引き続き、応援のほどをよろしくお願いします」

（取材・文　志田英邦）

PROFILE

阿澄佳奈（あすみ・かな）
●月12日生まれ、福岡県出身、A型
2007年『ひぐらしのなく頃に』で初の主役を務めるなど出演作品に『みなクンデ』『ラブラブ エキサイト 彼女』『ラブプラスEVERY』『召喚寺嬢乃役』など

水橋かおりさん＆阿澄佳奈さんに1問1答！

お2人の、気になるプライベートに迫るQ&Aを敢行！ 意外な私生活が明らかに……？

水橋かおりさんに 1問1答！

Q-01 自分の性格を一言で表すと？
A めんどくさがり。

Q-02 休日の過ごし方は？
A インドア。

Q-03 好きな食べ物は？
A 今は、お寿司……かな。

Q-04 お酒は飲む？ 好きなお酒の種類は？
A 私、すっごくお酒に弱いんです。
でもあえていうなら日本酒。

Q-05 健康のために気をつけていることは？
A 毎日湯船につかることです。

Q-06 かばんの中に必ず入っているものは？
A のど飴かなあ。仕事柄。

Q-07 子どもの頃の夢は？
A （水森）亜土さんになりたいと思っていました。
ガラスに絵を描く人？

Q-08 何にでもなれるなら何になりたいですか？
A 身長180センチのイケメンになりたい（笑）。

Q-09 役作りの秘訣は？
A 考えすぎない。

Q-10 最近ハマっているもの、ことは？
A 最近気になる女優さんがいて。
過去の出演作を観たりしています。

Q-11 最近すごく笑ったエピソードは？
A 最近すごく笑ってないなあ。

Q-12 号泣したいときに観る映画は？
A 鉄板で号泣できるのは「インデペンデンス・デイ」なんです。大統領の演説のところで絶対泣きます。

Q-13 お気に入りのアプリは？
A TextPad

阿澄佳奈さんに 1問1答！

Q-01 自分の性格を一言で表すと？
A めんどくさい（笑）。

Q-02 休日の過ごし方は？
A 家でたくさん眠ります。

Q-03 好きな食べ物は？
A ポップコーンとアップルパイ。

Q-04 お酒は飲む？ 好きなお酒の種類は？
A たまーに甘いお酒を飲みます。サングリアとか。

Q-05 健康のために気をつけていることは？
A 最近、運動を始めました。ジムに通っています。

Q-06 集めているもの？
A 収集癖がないので、あまりないです。

Q-07 かばんの中に必ず入っているものは？
A のど飴と四色ボールペン。
仕事道具として。

Q-08 子どもの頃の夢は？
A 夢はなかったです。
決められない子でした。

Q-09 何にでもなれるなら何になりたいですか？
A 魔法使いになりたいです！

Q-10 役作りの秘訣は？
A 頭を柔らかくすることのような気がします。

Q-11 最近すごく笑ったエピソードは？
A あるはずなんですけど……見つけたいです。

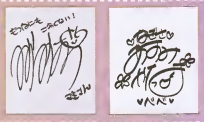
Q-12 号泣したいときに観る映画は？
A さっくりですけど、恋愛ものかなあ。

Q-13 お気に入りのアプリは？
A 映画検索のアプリはよく使います。
あとは「ツムツム」よくやってます。

PRESENT

水橋さん＆阿澄さんの貴重なサイン色紙を4名様にプレゼント！

水橋かおりさん、阿澄佳奈さん直筆のサイン色紙を各2名、計4名様にプレゼント！ 詳しい応募方法は P.46をチェック！



［新編］魔女図鑑

ベベ

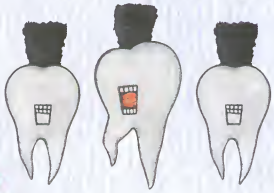
逃走中のお菓子の魔女と
お菓子の魔女の手下たち

偽街の子供たち

くるみ割りの魔女

［新編］魔女図鑑

くるみ割りの魔女の手下



人魚の魔女

薔薇園の魔女の手下

SPECIAL DRAWING OF MAMI AND NAGISA

人気作家が描く「マミ&なぎさ」

漫画家、美術家として第一線で活躍する2人が、
それぞれの解釈で「マミ&なぎさ」を描き下ろしました。
本誌で初公開となるイラストと、「まどか☆マギカ」作品に関するインタビューを掲載。

SANKAKU HEAD（サンカクヘッド）

“僕にとって印象深いのは、やはり3話のマミさんのシーン。今回はできるだけ平和で楽しそうな、マミさんとなぎさちゃんを描こうと思いました”

アニメがとても好きで、毎週深夜アニメを録画しては原稿の合間などに観ています。気に入った作品はブルーレイを購入して観直したりもしますが、最近は忙しいため観れていないものがたまってきてしまっています。『まどか☆マギカ』は中でもかなり好きな作品で、ブルーレイのほかにグッズなども持っています。

もともとシャフト様のつくるアニメが好きだったので、TVシリーズで新しく魔法少女ものをやると聞いて飛びついたのが『まどか☆マギカ』作品との出会いでした。初めは可愛い魔法少女たちに癒されようという目的で視聴していましたが、突然マミさんが食べられたあたりで「癒されアニメ」から「続きが気になるアニメ」に変わり、最後まで楽しく観させて頂きました。魔法少女たちのキャラクターが色分けされていて、それぞれの色で性格や変身イメージがわかりやすく表現されているところがおもしろくて好きです。普段、白黒の漫画を描いていると、キャラクターのイメージカラーまでは考えないので勉強になりました。

『新編』に関しては、TVシリーズでお話が完結していたこともあり、事前にストーリーの予想がまったくつきませんでした。劇場で観たときに僕が一番驚いたのは、バレエの表現が取り入れられていたこと。「新キャラクター」ではなく「新表現」という形で、違った楽しみ方ができるんだととても感動しました。

僕にとって『まどか☆マギカ』シリーズの中で印象深いのは、やはりTVシリーズ3話のマミさんが食べられてしまうシーンなんです。今回、マミさんとなぎさちゃんを描く機会をいただいたので、できるだけ平和で楽しそうな2人を描こうと思い、イラストのテーマを「パーティー」にしました。イラストにたくさんちりばめたのは、マミさんのリボンやなぎさちゃんのお菓子。僕はごちゃごちゃしている絵を描くのが好きなので、描いていてとても楽しかったです。ごちゃごちゃした中に何かが隠れているかもしれないので、ぜひ探してみてください。

イラストと文章のお仕事はあまり経験がないので、上手くできているかわかりませんが、好きな作品を表現したり語ったりすることができてとても楽しかったです。一人の視聴者として、今後も『まどか☆マギカ』作品を応援していきたいと思います。

サンカクヘッド

漫画家。1986年3月10日生まれ。山梨県出身。
現在、『ヤングジャンプ』（集英社）にて『干物妹！うまるちゃん』を連載中。その他、セルフスピンオフ漫画『ひもうと！うまるちゃんs』がニコニコ静画【http://seiga.nicovideo.jp/comic/10149】にて配信中。著書に『干物妹！うまるちゃん』（集英社）、『ぱんてら』（マッグガーデン）、『荒くれネバーランド』（幻冬舎）、『厨二くんを誰か止めて！』（富士見書房）など。
サンカクルーム（公式HP）【http://sankakuhead.main.jp/】

『干物妹！うまるちゃん』(1)
集英社　発売中

『干物妹！うまるちゃん』(2)
集英社　発売中

©2014 ai☆madonna / AI☆MADONNA PRODUCTION INC.

AI☆MADONNA（愛☆まどんな）

“なぎさの出現が、孤独だったマミさんに ハッピーをもたらした、そんな幸せな一枚にしたかった”

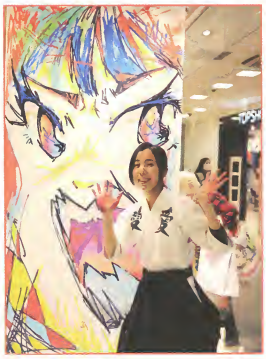
こう見えて意外とアニメは観ていないほうなんです。どちらかというと、人並み以下だと思います。ただ、好きで印象に残っているのは、大友克洋先生の『AKIRA』。私が子どもの頃に一番衝撃を受けて、今でも大好きなアニメ映画です。あと、初恋の相手は『綾波レイ』で、『エヴァ』は作品というより綾波のおっぱいを眺めるために観ていた気がします。

『まどか☆マギカ』との出会いは、アニメ好きの友人から勧められたのがきっかけでした。私が特に気に入っているのは、魔法少女たちが魔女と戦うシーン。それから、まどかのママが女を見せる感じがリアルで好きです。お話は、思春期の女の子なら誰しも共感できるような箇所が多いし、キャラクターの可愛らしさに対して話の内容が重かったり、そのギャップがどんどん癖になります。いい意味で生理痛みたいなアニメだなって思っています。

今回の劇場版［新編］を観たときは、“平和ボケしてたら、急に糸がぐっちゃぐちゃに絡まっちゃった感じ”でした！ 絡まりすぎて手がつけらんなくなっちゃったケド、後に続く糸があるのかないのか……妄想の中で探っていくのも楽しみです。具体的なところでは「なぎさ」が謎です。「ベベ」がどう転んだらあのようなロリっ子キャラクターになるのかも不明でしたし、これから解き明かされるのか……？ そこも楽しみ。お気に入りはやっぱり魔法少女たちの変身シーンかな！ 勇ましさが増していて、大満足でした。

魔法少女たちの中では、品があるのでマミさんが一番好きです。あと、魔法少女に変身してたくましいときのまどかも好き！ マミさんとまどかが協力しあって戦うシーンで、2人並んだ感じが特に鳥肌が立ちますね。今回のイラストは、面倒見のいいお姉さんのマミさんが、なぎさを連れて遊んでいるイメージで描きました。なぎさの出現は、孤独だったマミさんにとってハッピーをもたらしたように思います。そんな楽しげな幸せな一枚にしたいと思いました。

『まどか☆マギカ』作品に出会って、2次元の世界観でよくこんなにも複雑な表現ができるなって嫉妬しました。細部までリアルに少女の心理に迫って、かつ観る人に届くようにつくられていることが衝撃的でした。あと、魔女の表現が、独特で愉快で大好きです。10年以上前に観た『アスパラガス』という映画の世界観にとても近しいものを感じました。気持ちが悪いけれど実に官能的で、女性的で、とても興味深いです。未来に続く日本アニメの可能性にこれからも期待しています！



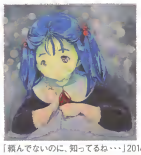
愛☆まどんな（あい・まどんな）

嫌われない程度に愛されたい女流美術家。美少女は自らの愛を代弁する究極のモチーフ。コピーはそこに降りてくるもの。2003年、東京都立芸術高校卒業後、美学校を経て作家活動を開始。2012年、イラストやグッズ展開など活動の幅を広げるため「愛☆まどんなプロダクション」を設立。 公式サイト【http://ai-madonna.jp/】

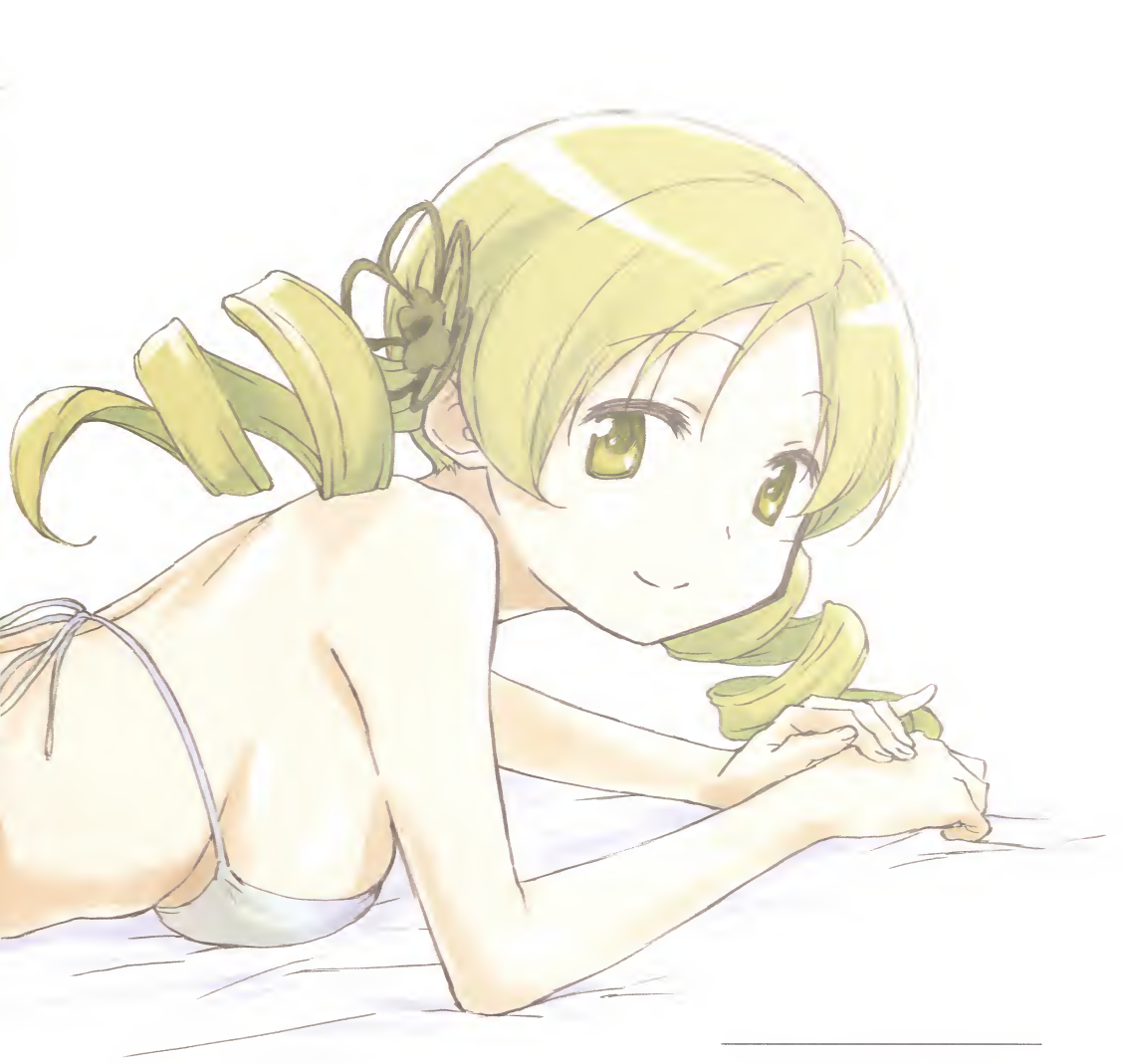
「じゃぁ、部屋の中で ピクニックしよっか」2013 廃墟マンションでの滞在制作現場

「角っこエンブレム」2014 オリジナルキャラクター

「角っこエンブレム推しメン T」2014 photo:shiorikawamoto model:みさこ,ゆず（バンドじゃないもん！）



「眩んでないのに、知ってるね・・・」2014 S100号キャンバス、アクリル



CHINGCAME Special ver.

Model

Mami Tomoe

Staff

Illustration: Junichiro Taniguchi

Supported by Keisuke Naito [KiKi inc.]

演ヒストリー

2011年
2月

『娘TYPE』2011年2月号／作画：潮月一也　仕上・背景：シャフト

2011年
3月

『メガミマガジン2011年3月号』　原画：高橋美香　仕上：シャフト　背景：インスパイアード

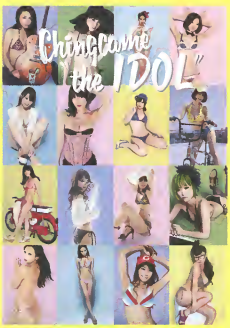
WHAT'S "CHINGCAME"?

「ちんかめ」とは…

宝島社の男性向けファッション雑誌「smart」内で1997年より連載されている、フォトグラファー内藤啓介によるグラビア企画」シリーズの写真集も多数刊行されている。『おしゃれなヌード』として始まり、2011年以降は水着着用のグラビアとなった。人気のあるモデル・アイドル・女優からアニメのキャラクターまで、出演者の幅が広くバラエティーに富んでいることでも話題。

（2014年6月号）

今回、本誌限定で
「ちんかめ」
×
「マミ」
のスペシャルコラボ
が実現！



最新写真集　ちんかめ the IDOL
好評発売中！　1238円＋税　宝島社刊

HISTORY マミの水着グラビア出

2012年
8月

『コミックマーケット82』
グッズ用描き下ろしイラスト
原画：山村洋貴
仕上：シャフト

2011年
5月

『メガミマガジン』2011年5月号　作画：谷口淳一郎　仕上：シャフト　背景：スタジオちゅーりっぷ

浴衣姿がキュートなフィギュアシリーズに
待望の暁美ほむらVer.が近日登場!

2014年8月
発売予定

ピンクの浴衣が
愛らしい、元気なまどか!

ほむらは、大人っぽい浴衣で
ちょっぴり背伸び!

可愛らしい浴衣姿が大人気の鹿目まどかフィギュアに加え、
この夏、待望の暁美ほむらVer.が登場予定!
新しく登場するほむらVer.は、ダークトーンの浴衣に彼岸花柄がシックで、
大人っぽい印象。まどかと並べて飾るもよし、単体で飾るもよし!
まどか&ほむらとお祭り気分を楽しもう!

鹿目まどか 浴衣Ver.

[税抜] ¥8,381(発売中)

全高:約180mm	1/8スケール
専用台座付属	原型制作 minarai

暁美ほむら 浴衣Ver.

[税抜] ¥8,148(2014年8月発売予定)

全高:約200mm	1/8スケール
専用台座付属	原型制作 bridge

http://www.freeing.co.jp

<お問い合わせ先> FREEing ☎045-309-4710

『劇場版 魔法少女まどか☆マギカ』オーケストラ・コンサート現場レポート!

2013年秋に開催され、大好評のうちに幕を下ろした『まどか☆マギカ』オーケストラ・コンサートの模様をレポート!
『まどか☆マギカ』の世界を迫力の生演奏で堪能できる、とてもスペシャルなイベントでした!

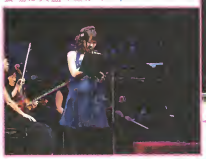
2013年10月の東京会場から始まり、仙台・広島・名古屋・大阪・高松と全国6カ所を巡った『劇場版 魔法少女まどか☆マギカ』オーケストラ・コンサート。[前・後編]の劇中音楽から抜粋された約40曲を、オーケストラ+バンド+コーラスという原曲を忠実に再現した編成による迫力の生演奏で体験できるということで、開催前からファンの間でも話題を集めた。

2013年10月16日(水)。初日の東京会場(渋谷公会堂)は、[新編]が公開される直前のタイミングだったこともあり、公開を心待ちにするファンの気分はまさに『まどか☆マギカ』ムード一色! ただ、この東京公演では、開催当日に「ワルプルギスの夜」を彷彿とさせる超大型台風が関東を直撃し、開催が危ぶまれるというアクシデントも……! なんとか、天候が無事回復したため予定通りの開催となり、会場の渋谷公会堂には約1800人のファンが詰めかけた。

この日は、司会として「暁美ほむら」の声を務める斎藤千和さんが出演。開演前の諸注意のアナウンスを斎藤さんが担当すると、場内のテンションは一気にヒートアップ! 録音録画への注意も「愚か者が相手なら、私は手段を選ばない」というほむらの名台詞を交えて行った。本編では「Sis puella magica!」や「未来」といったファンにはおなじみの楽曲がときに激しく、ときに幻想的に奏でられ、[前・後編]の名シーンの脳内再生が止まらない状態に。曲間には斎藤さんによる生声で、「暁美ほむら」の名台詞が差し込まれるという演出もあり、生演奏の迫力と相まって、場内は感動によるすすり泣きも聞こえたほどだった。仙台・大阪公演には巴マミ役の水橋かおりさん、広島公演には鹿目まどか役の悠木碧さん、高松公演には佐倉杏子役の野中藍さんが登場して会場を盛り上げた。

実はこのコンサート、新たな楽曲を加えた凱旋追加公演が決定! 凱旋公演は「東京(池袋・東京芸術劇場)」と「静岡(浜松・アクトシティ浜松)」の2公演。『まどか☆マギカ』の世界観を体感できる素敵なコンサートなので、前回参加した人はもちろん、参加できなかった人もこの機会にぜひ足を運んでみてほしい。このコンサートを主催している株式会社アイムビレッジは、このほかにもゲームやアニメ・映画の音楽をオーケストラで魅せるコンサートを企画しているそう。こちらの今後の動向からも目が離せない!

司会を務めた斎藤千和さんの生声に会場は大盛り上がり! ↓



↑指揮を務めた志村健一さん。ゲームやアニメの音楽コンサートの第一人者だ。

Photo: YUTAKA NAKAMURA

↓こちらは大盛り上がりだった高松公演の模様! ↓

Photo: BANAZO

凱旋追加公演情報

★東京公演 完売御礼!
日時 6月7日(土) 17時開場 18時開演(予定)
会場 東京芸術劇場
司会 加藤英美里(キュゥべえ役)
共催 池袋シネマチ祭/エクスアーツジャパン(株)

★浜松公演 残席僅少!
日時 7月12日(土) 15時開場 16時開演(予定)
会場 アクトシティ浜松
司会 野中藍(佐倉杏子役)
共催 静岡朝日テレビ

＜料金＞ S席 6,200円、A席 5,150円、B席 4,100円

公演の詳細やチケットについては【 http://www.aim-vil.com/sponsor/madoka-concert-encore/ 】をチェック!

宝島社の「魔法少女まどか☆マギカ」付録つきムックシリーズ

大好評
発売中!

描き下ろしカバーイラストA3ポスター「まどか&ほむら仲よしステッカー」付き!

第1弾
1冊まるごと まどか&ほむら大特集!
魔法少女まどか☆マギカ
LOVE! まどか&ほむらver.

第2弾
1冊まるごと さやか&杏子大特集!
劇場版 魔法少女まどか☆マギカ
LOVE! さやか&杏子ver.

描き下ろしカバーイラストA3ポスター「さやか&杏子仲よしステッカー」付き!

©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Movie Project Rebellion

⚠ATTENTION

切り取り線に沿って切り離してから、
付録を取り出してください。
はがしたあと、テープが隣のページに
貼りついてしまう可能性があります。
付録パッケージをはがした際のページの破れによる
本誌の返品・交換はできません。

PUELLA MAGI MADOKA MAGICA

LOVE! MAMI AND NAGISA

e-MOOK
宝島社

価格: 本体1600円 ＋税
雑誌60735-55

ISBN978-4-8002-2503-0
C9474 ¥1600E

9784800225030
1929474016005